

謙虚とは何か

鴨宮中学校 三年 飯田 拓斗

私はよく母から、

「人に感謝して、謙虚に生きてほしい。」

と言われます。部活の試合が終わったときやテストで高得点を取ったとき、頑張ったのは自分なのにどうして人に感謝しなければならないのだろうと思ってしまうこともあります。「謙虚」とは何か——考えてみると、私はあるスポーツ選手のインタビューを思い出しました。

その選手は、

「支えてくださった方々、応援してくださいましたみなさんに感謝です。」

と言っていました。自分のプレーについて言及するよりも、人への感謝を優先する。その気持ちを常に忘れないことは、とても難しいことだと思います。勝ったり、活躍したりした喜びで忘れてしまいそうです。それでも真っ先に「感謝」という言葉を発する人が、世界で活躍したり、尊敬されたりしていると思います。それは私たち学生も同じです。自分の成功におごり高ぶってしまう人は、周りから讃えられないだろうし、運も味方してくれないと思います。

では、私たちにとって「支えてくれた人」とはどのような人なのでしょうか。どのような人に真っ先に感謝を述べるべきなのでしょう。私は「家族」と「部活の仲間」が浮かびます。「家族」は、私を大事に育ててくれたり、家事をしたりしてくれています。また、「部活の仲間」は練習につき合ってくれたり、仲間の試合を一生懸命応援したりしてくれました。試合で勝利したときには、

「勝ってよかった。」  
ではなく、

「みんなのおかげで勝てたよ。ありがとう。」

ということをお口にしています。日頃の感謝はもちろんのこと、仲間全員で戦っているという思いが私がついていたからではないかと思えます。自分だけでなく、全員で戦っている思いがあれば、頑張ったのは自分という気持ちを取っ払うことができるのではないのでしょうか。これらのことをふまえて「謙虚とは、自分の存在、行動が常に誰かに支えられて成り立っているものであることを自覚し、その感謝を表に出す姿勢のこと」だと考えました。私は、「謙虚≡控えめ」というイメージをもっています。それは他人への感謝が優先され、勝利の喜びや興奮が隠れているからだと思います。

人は、一人では生きていけません。私たちがいま生きているのは、必ず誰かの支えがあつてこそそのものです。それは当たり前前ではありません。むしろ、それに感謝することこそ「当たり前」な気もします。「支えてくれる誰か」への感謝を表に出しながら、生きていくべきなのではないのでしょうか。